

学校教育

少人数学級の
の拡充を

三宅 盾子

(まちを住みよくする会)

問 少人数学級の取り組みは、児童の学習環境の充実のために欠くことのできない施策である。本市は国や県の基準よりも進んだ中学校全学年、小学校では3年生までの少人数学級編制がとられ、保護者や教育関係者から歓迎されている。しかし、4年生から6年生の少人数学級編制拡大を望む声が大い。少人数学級の拡大が進まない理由とは何か。

また、拡大した場合の財政負担(試算額)はどの位か。

答 これまでの小学校1年生から3年生における少人数学級の効果と比較し、4年生以



市内小学校

上の編制拡大の有効性を検証していくことが必要である。学級増に伴う教職員の質の確保や財政負担を考慮しながら検討したい。

また、拡大した場合の試算では、10人分の人件費として約5200万円かかる。

学校教育

学校統廃合に
対する地域の実情は香川 宏行
(新政策研究会)

問 通学区の統廃合の対象となつた公立学校の地元説明会で地域住民の理解は十分得られているのか。

また、平成20年11月に教育委員会が作成した行田市公立学校再編成計画(案)では、概ね10年以内に統廃合を移行に移すべきとされているが、いつまでに結論を出すのか。

答 説明会を開催してきたが、未だ一定の方向性を得るに至っていない。学校が無くなることは地域社会の中心を失うことになりかねないが、本年度1学年が4名という小規模学校もあった。子どもたちにとってより良い学習環境を提供する責任もあることか

ら、地域との合意のもと方向性を見出していきたい。

また、結論の時期であるが、引き続き説明会や地域協議会の中で意見を聴取し、望ましい教育環境を目指したい。

福祉

孤立死対策
の取り組みを大久保 忠
(日本共産党)

問 全国各地で孤立死が続発している。増え続ける背景には急速な貧困化の進展がある。国の責任は大変重いが、自治体の果たす役割も市民の命と暮らしを守ることにあり、孤立死対策はその根幹に関わる問題といえる。孤立死を防ぐ対策をどう進めているか。

答 本市では、ひとり暮らし高齢者等に対する乳酸飲料・配食などの安否確認も含めたサービス提供や地域安心ふれあい事業を推進し、この事業の一環として、自治会単位で支え合いマップを作成し要支援者を把握し、地域見守り活動に活用している。

問 電気・ガス・水道などライフラインは基本的に停止させないことが必要ではないか。

ら、地域との合意のもと方向性を見出していきたい。

また、結論の時期であるが、引き続き説明会や地域協議会の中で意見を聴取し、望ましい教育環境を目指したい。

保育施設

保育所の
待機児童について栗原 二郎
(日本共産党)

問 待機児童の問題だが、市の次世代計画のニーズ調査では、「子どもを預けられれば働きたい」という母親が16.1%に上る。このことは、潜在的待機児童の存在があることとらえるべきではないか。

市は待機児童がいることを認識できないか。また、市の2014年までの児童の受け入れ計画では、1340人だけが達成できるのか。

答 現在仕事をしていなくても、保護者に就労の意向がある場合は、確約書を提出することで入所の申し込みを受けている。保護者からの意思表示がない限りは潜在的待機児童の把握は困難である。また、受け入れ計画については、基準を満たせば定員超えでの保育が可能なおから、定員超えが恒常的な保育所に対し、

ライフレインの停止は、慎重に対応すべきと考えているが公平性の観点も踏まえ適切に対応する必要がある。

郷土博物館

郷土博物館の
運営について新井 教弘
(黎明21)

問 郷土博物館1階にある事務室を移動させ売店にしてはどうか。

また、映画「のぼうの城」公開に伴い、本市への来訪者は映画をイメージして訪れると思う。展示物も映画に結びつく工夫が必要ではないか。今後、御三階槽内においてどのような展示物を考えているのか。

答 事務室は博物館を正常に管理運営するとともに災害などの非常事態に対応する機能が集中していることから転用は極めて困難である。

また、御三階槽は温度や湿度をコントロールできる空調設備を設けていない。そのため、美術工芸品等の展示には適していないのが現状である。今後は城絵図等のパネルを展示している当スペースの充実を図り、来館者の興味に繋がるよう努めていきたい。

定員の見直しを働きかけることで達成できると考えている。